
猫岳の話 本当は怖い日本むかしばなし

山之口 博道

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

猫岳の話 本当は怖い日本むかしばなし

【Zマーク】

Z3578H

【作者名】

三矢口 博道

【あらすじ】

昔、熊本県は阿蘇の近くに猫岳といつ山があったそうだが、

むかーしのいじじゅつた。熊本県は阿蘇岳の近くに猫岳とこいつ山が
あつたそつな。

あるひのいじじゅつた。そのふもとを旅行く若者があつたやうな。

田も暮れて、山道を行くと、次第に山は深く、荒涼たる風景が広が
つてきたそつな。

やがて田もひとつふつと暮れて、困惑してこると、彼方に明かりが見
えたそつな。

やれうれしやと、近づくと大きなお屋敷があつたそつな。
『こんばんわ、もしもし、今晚一晩とめてくれませんか?』

すると奥から「はーい」と声がして女中さんがあらわれたそつな。
『どうぞ。いろんなとくひでよかつたらおとまつください』

やれよかつたと案内されるままに入つてこくとやは大きなお屋敷
だつたそつな。
部屋に着くと、じょちゅうわんは『どうぞお風呂でもお入つください』
といつてこつ。

若者は早速、湯屋へいそいだ。
その途中廊下で独りの女中とすれちがつたそつな。

女中は若者を一田見るなつアツト声を上げて引をとめ

『何でこんなところに来たのです。口々は人間の来るところではありませんよ』といつ。

ゾッとした若者は、「一体お前はだれだね?」とたずねると。

『私は5年前貴方に親切にしてもらつた隣の猫です。餌をくれたり優しくしてくれましたよね』

といつのである。

『口々は猫の世界なのです。口々で食つたり湯に入つたりすれば毛がはえて猫にされてしまつのですよ。早くおにげなさい』といつ。

若者は恐ろしくなり一田散に屋敷を逃げ出した。

氣付いた猫たちは手に手に湯ひしゃくを持って形相も恐ろしく追いかけてくる。

湯をかけて猫こじょいつといつのである。

命からがら何とか逃げ帰った若者であったが、湯が掛かつた、耳の後ろにはなんと、

三毛色の猫の毛が生えていたといつ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3578h/>

猫岳の話 本当は怖い日本むかしばなし

2010年10月10日04時46分発行